

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
鶴田町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させる。	常駐する推進員は、学校と地域の連絡調整等を行い、通学指導や総合的な学習の時間の計画・運営、授業の補助等、教員の業務負担軽減を図ったり、放課後や土曜日等を活用した子ども教室の実施。	よりよい学校教育となるように役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担の軽減とともに、これからの社会を創り出していく子どもたちが社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいく。	地域学校協働活動に関わる地域住民の数(地域学校協働活動推進員等の有償スタッフ以外で年間延べ人数)	102	人	200		